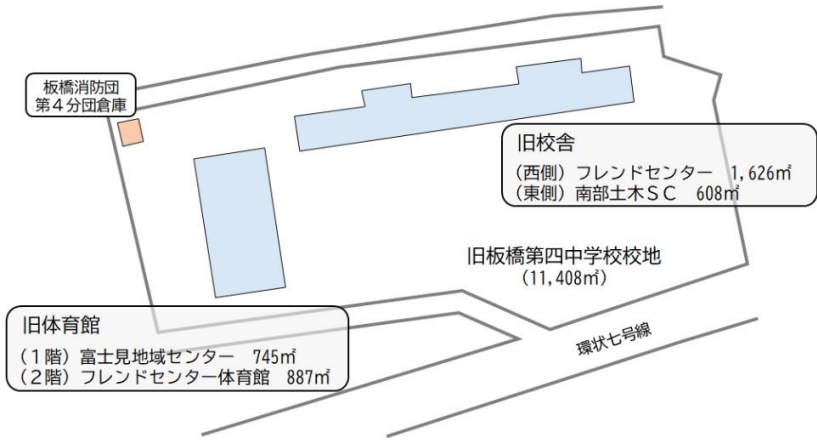


1 資産現況

所在地	富士見町3-1（住居表示）
敷地面積	11,408㎡ （旧校舎）8,583㎡、（旧体育館）2,825㎡
施設面積	（旧校舎）4,151㎡ （旧体育館）1,632㎡
用途地域	近隣商業地域・第1種住居地域
建蔽率/容積率	80%・60%/300%
現況	（旧校舎）フレンドセンター、南部土木SC、文書倉庫 （旧体育館）富士見地域センター、フレンドセンター体育館



2 これまでの検討経緯

- 平成18年3月末に閉校し、平成19年4月からフレンドセンター及び富士見地域センターとして使用している。平成29年度に南部公園事務所（現・南部土木サービスセンター）を移転した。
- 令和元年度から令和2年度にかけて、No.1プラン2021に基づいて、公共施設の配置検討を進める中で、旧板橋第四中学校について検討を行い、方針案を作成して地域説明会を実施した。
- 令和3年1月に策定したNo.1プラン2025において、コロナ禍など社会環境の急激な変化を踏まえ、公共施設の新規工事着工を原則先送りとしたため、集約・複合化にかかる方針決定については、令和5年度以降とした。
- 令和6年1月に策定したNo.1プラン2025改訂版に基づき、この間における社会環境の変化を踏まえつつ、次期基本計画を見据え、改めて旧板橋第四中学校の跡地活用の検討に着手している。

3 区民の意見等

- 跡地の現状を変更する際には、地域への説明及び意見を聴く機会を設けてほしい。
- 避難所として指定されているが、体育館に空調・エレベータがなく、老朽化も進行しているため、早期に解決してほしい。
- 様々な人が集い、スポーツや遊びの場など身体を動かすことが出来る多目的広場を設置してほしい。
- 旧板橋第三小中学校の交流広場を引き続き使用したい。また、旧校舎を建替える際、集会所を設置してほしい。

4 解決すべき課題

- 板橋フレンドセンターについて、不登校傾向の小・中学生が増加傾向にある中、学校外で安心して過ごせる居場所を継続的に提供し、取り組み・支援を充実させる必要がある。
- 南部土木サービスセンターについて、平時の道路・公園等の維持管理や災害時（地震・風水害）における活動の拠点として、適切な配置とする必要がある。
- 富士見地域センターについて、「新たな地域センターのめざす方向性」（令和2年1月）で示したように、地域活動に関わる区民の増加と地域の会議体等のネットワーク化による地域課題の解決、施設利用者層の拡大を図る必要がある。
- 避難所等防災機能について、富士見地区の避難所は旧板橋第四中学校と板橋第八小中学校の2か所のみであるため、機能継続が課題である。また、環状七号線沿いの立地を活かし、物資の運搬や備蓄に関する機能整備を検討する必要がある。
- 地域から要望のあった多目的広場について、環状七号線の富士見町～東山町近辺には体育施設が無く、全区的にもサッカー・ラグビーに利用できる施設が少ないことから、各競技団体からの要望などを踏まえた対応を検討する必要がある。
- いたばし総合ボランティアセンターについて、活動拠点の充実や、災害時に災害ボランティアセンターを担うためのスペース確保について検討する必要がある。
- 大原生涯学習センターについて、施設の老朽化対応と、生涯学習センターのあり方検討結果（令和6年2月）を踏まえた、若者支援機能の強化、民間活力の導入によるサービス向上などの機能強化を具体化する必要がある。
- 富士見台児童館について、令和6年2月に示した今後の児童館の展開に関する考え方に沿って、地域性に応じた機能強化・居場所の提供などを検討する必要がある。

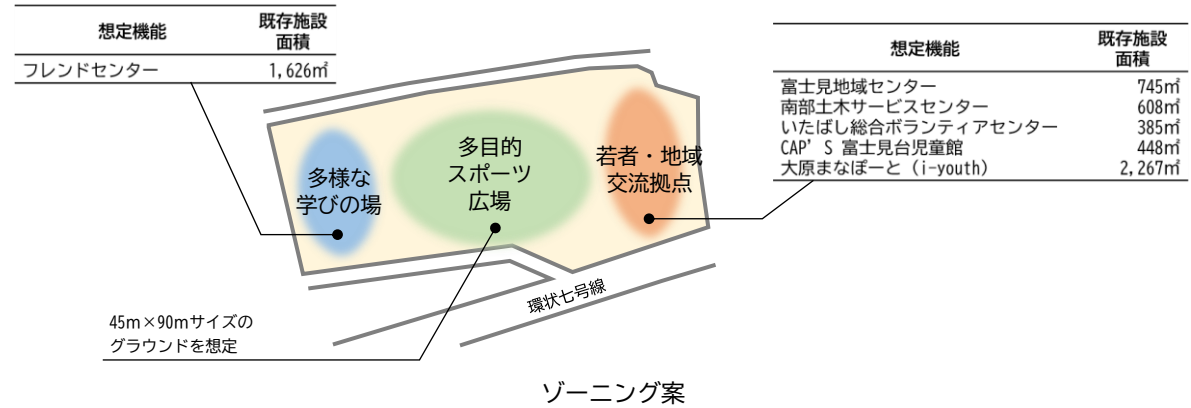
5 跡地活用方針

（1）基本的な考え方

- 旧板橋第四中学校を中心とし、資産の有効活用により魅力とサービス・機能向上を図る観点から、次期基本計画を見据え、広く区政課題を解決するため、「旧板橋第四中学校跡地活用方針」（以下、「旧板四中活用方針」）を策定する。旧板橋第三小学校についても効果的・合理的な整備を並行して検討する。
- 学校跡地という大規模な敷地を有効に活用する視点から、区が土地を保有し、既存施設の機能充実や周辺施設の老朽化、適正配置などの課題に対応していくことを念頭に、跡地の有効活用を検討する。
- 公民連携の視点も含めてサービス・機能を検討し、魅力の創造・サービス向上を図る。

（2）旧板四中活用方針

活用のコンセプト		課題解決の方向性・配置する機能
若者・地域交流拠点	子ども・若者と地域住民などが集い、活動・交流できる	大原生涯学習センターの機能移転を軸に、児童館、地域センター等と複合し、居場所づくり・交流を促進する。
多目的スポーツ広場	サッカー・ラグビー等、ニーズに合わせて利用できる	サッカー・ラグビー等の競技で利用可能な多目的スポーツ広場を整備し、区内のスポーツ振興を図る。
多様な学びの場	児童・生徒の学びを保障、安心して過ごせる	フレンドセンターを集約・再整備することにより、効率的・効果的な運営の実現及び機能の充実を図る。
防災力の強化	立地を活かし、区全体・地域の防災力を高める	南部土木SCを引き続き配置し、平時/災害時の対応力強化を図る。



（3）今後のスケジュール案

令和7年4月	議会報告
5月	説明会
令和7年度（11月）	区議会報告：検討状況
令和8年度（9月）	区議会報告：構想・計画素案
（2月）	区議会報告：中間のまとめ
（2月）	区議会報告：構想・計画原案

※適宜、地域・団体・関係機関等との意見交換や住民説明会を開催するほか、区のホームページやSNS・パブリックコメントの実施などを通じた意見募集など広く意見等を伺いながら検討を進めていく。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度～
方針策定●	整備構想・計画策定		設計・工事